

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375900244
事業所名	グループホーム しはと

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会の「特別会員」として、地域との交流が深まっている。夏祭りでは、“親子太鼓”がホームの前まで来て利用者にジュース等を振る舞い、1月の稲荷の祭りでは、祭りが終わった後で“祝いの甘酒”がホームに届く。 これまでは、地域の保育園の誕生会に利用者が招待されていたが、今年からは、園児がホームまで来て歌や遊戯を披露してくれるようになった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者代表、家族代表、市・長寿課や地域包括支援センターの担当者、町内会長、民生委員、評価機関担当者等が参加し、年間6回の運営推進会議が開かれている。 ホームからは活動報告、身体拘束委員会報告、利用者会議報告、研修会参加報告等を行い、参加者が活発な意見交換をしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 昨年までは運営推進会議に、市・長寿課と地域包括支援センターの担当者双方が出席していたが、今年からは交替での参加となった。 法改正や制度変更等、分からないことがあれば、すぐに市の担当者に連絡して回答や助言をもらっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月1回の「刺身の日」に加え、家族から「お肉の日を作ったら、お年寄りが元気になるのでは…」との意見をもらい、「お肉の日」が誕生した。肉料理を食べ、利用者の顔色は艶やかになり、行動にもメリハリが出てきた。 毎月発行される「グループホームしはと便り」は、全面担当者による手書き・手作りで、温かみが感じられる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	